

チャイナコマース

銀聯カードユーザーを集客

1月中旬開設へ 申込は40社以上

チャイナコマース(本社東京、崔永哲社長、(株)03-3984-3233)が日本の企業向けに

出店を受け付けているのは、中国銀聯公式オンラインショッピングモール(銀聯在線商城(ギンレンオンラインモール))。銀聯カードはデビットカード方式で支払いができる、中国で最もポピュラーな決済手段。カード発行枚数は211億枚で、所有者は6億人以上。銀聯のサイト内にあるため確実な集客を見込めるのが同モールの強みだ。

光熱費や新聞の支払いに銀聯カードを利用する人も多い。生活上の支払いで貯まったポイントを使い物のポイントとして使えるモールのため、消費者の利用頻度も高まると見られる。モールの開設は11年1月中旬を見込んで、すでに40社以上から申し込みがある。なかには大手通販会社も含まれているという。

したカード所有者にチラシを送付することができ、こうしたサービスを提供することで、出店者の売上アップにつなげていく。

オープン後に銀聯の会員データを利用した販促を行っていく計画だ。カードの所有者に送付するダイレクトメールのなかにはチラシなどを入れメールへ集客する。チラシの封入は、過去の購入履歴、年齢、性別、利用金額などでセグメントが可能。出店者は取扱商品に合致した商品を配送する。配送は注文があった商品を、チャイナコマースが指定した日本国内の拠点に送るだけ。その後は、同社がEMSを利用して中国の消費者に配送する仕組み。

国内での出店者募集は、富士通の子会社、富士通マーケティング(本社東京)と共同でセミナーを開催して、開拓していく。14年12月までに日流通規模にまで拡大していく予定だ。

チャイナコマース 基本データ

料金	初期費用	200,000円~
	月額費用	49,800~199,800円
	売上に対するロイヤリティ	6.5~9.0%(決済手数料を含む)
サービス	ページの制作の代行	オプション
	ページの翻訳	オプション
	受注処理の代行	基本サービス
	物流代行	オプション
	問い合わせの代行	基本サービス
規模	掲載可能商品点数	無制限
	出店者数	40店(10年11月現在)
	月間流通総額	非公開
	目標出店者数	14年12月時点で5,000店
	目標月間流通総額	13年4月に2,000百万円

14年12月までに日流通規模にまで拡大して